

領域別リスクレベル

リスク レベル	一般外科	泌尿器科	婦人科	産科	整形外科	脳神経外科	脊髄損傷 重度外傷
低	60歳未満の非大手術 40歳未満の大手術	60歳未満の非大手術 40歳未満の大手術	30分以内の小手術	正常分娩	上肢の手術	開頭術以外の 脳神経手術	
中	60歳以上あるいは危険因子がある非大手術 40歳以上あるいは危険因子がある大手術	60歳以上あるいは危険因子がある非大手術 40歳以上あるいは危険因子がある大手術	良性疾患手術（開腹、経腔、腹腔鏡） 悪性疾患手術で良性疾患に準ずる手術 ホルモン療法中の患者に対する手術	帝王切開術（高リスク以外）	脊椎手術 骨盤・下肢手術（股関節全置換術 膝関節全置換術 股関節骨折手術を除く）	脳腫瘍以外の 開頭術	
高	40歳以上の癌の大手術	40歳以上の癌の大手術	骨盤内悪性腫瘍根治術 静脈血栓塞栓症の既往や血栓性素因のある良性疾患手術	高齢肥満妊婦の帝王切開術 静脈血栓塞栓症の既往や血栓性素因のある経腔分娩	股関節全置換術 膝関節全置換術 股関節骨折手術	脳腫瘍の開頭術	重度外傷、運動麻痺を伴う完全または不完全脊髄損傷
最高	静脈血栓塞栓症の既往や血栓性素因のある大手術	静脈血栓塞栓症の既往や血栓性素因のある大手術	静脈血栓塞栓症の既往や血栓性素因のある大手術	静脈血栓塞栓症の既往や血栓性素因のある帝王切開	「高リスク」の手術を受ける患者に静脈血栓塞栓症の既往や血栓性素因が存在する場合	静脈血栓塞栓症の既往や血栓性素因のある脳腫瘍の開頭術	静脈血栓塞栓症の既往や血栓性素因のある「高リスク」の重度外傷や脊髄損傷

一般外科手術と泌尿器科手術で大手術とは、厳密な定義はないがすべての腹部手術あるいはその他の45分以上要する手術を基本とし、麻酔、出血量、輸血量、手術時間などを総合的に判断するとされている。